

令和6年第3回

北広島市教育委員会会議録

日時：令和6年3月1日（金）
16時00分～16時45分
場所：市役所4階会議室

○目 次

開会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
日程第1	会議録署名委員の指名・・・・・・・・	1
日程第2	教育長報告・・・・・・・・	1～2
日程第3	議案第1号 令和6年4月1日付け教職員の人事異動に関する内申について【非公開】・・・・・・・・	2～5
日程第4	そ の 他 (1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告について・・・・・・・・	5～9
	(2) 次回の教育委員会の日程について・・・・・・・・	
閉会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・	9

出席者	教育長	吉田孝志	説明員	教育部長	吉田智樹
	教育委員 (教育長職務代理者)	成田郁久美		教育部理事	鹿野秀一
	教育委員	石上浩子		教育総務課長	河合一
	教育委員	高山隆二		教育総務課参事	永坂隆之
傍聴人		なし		学校教育課長	川又洋火
				教育支援課長	澤井大輔
				社会教育課長	渡辺広樹
				文化課長	若澤路子
				文化課参事	笹森和宏
				エコミュージアムセンター長	渡邊篤広
				学校給食センター長	岡謙一
				防災食育施設整備担当参事	伊達千秋
			記録員	教育総務課主事	久保光輔

開会 16時00分

(議 事 の 経 過)

◎開会宣言

○吉田教育長 ただいまから、令和6年第3回教育委員会会議を開会いたします。議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

◎日程第1 会議録署名委員の指名について

○吉田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員として、石上委員を指名いたします。

○吉田教育長 日程第2に入ります前に、本日は、議案第1号が教育委員会会議規則第16条第3号に該当いたしますことから、非公開とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○吉田教育長 異議なしと認め、議案第1号につきましては、非公開といたします。

◎日程第2 教育長報告について

○吉田教育長 日程第2、教育長報告に入らせていただきます。

○吉田教育長 今回は、教育長報告として3点、報告させていただきます。

まず始めに、令和5年度北海道教育実践表彰についてであります。北海道教育委員会から、教職員表彰部門において東部中学校の高井彩佳教諭が表彰されたところであります。

高井教諭は、外国語科の教材研究に努め、各種調査結果を基にした指導方法の工夫・改善に尽力するとともに、教務主任として、校内の学力向上に向けた検証改善サイクルの確立を図り、組織的な取組を推進する中で創意工夫ある教育活動を展開するなどの実践が高く評価されたところであります。

この表彰を機に、本市の教育実践の一層の充実に向け、更に力を発揮して頂くことを期待しているところであります。

次に、寄附についてであります。北広島ユネスコ協会(会長三國勝美)様から、子どもたちの育成のため奨学基金として活用してほしいとの申出があり、2月14日(水)に3万円の寄附をいただいたところであります。

寄附金につきましては、令和6年第2回市議会定例会において、奨学基金寄附金として補正予算

案を提案する予定としており、議決後、有効に活用したいと考えております。

次に、寒地稲作成功150周年記念事業についてであります。2月25日に芸術文化ホール開館25周年事業として、公募による市民の参加を得て、創作劇「久蔵と十郎～鍬を振るう侍～」の公演を行ったところであります。

中山久蔵翁と松本十郎判官の交流を描いた本公演につきましては、約417名の来場をいただき、寒地稲作の歴史について広く理解の醸成が図られたものと考えております。

また、島松沢に訪れた方々に、さらなる魅力を発見していただくため、「北海道米のふるさとSHIMAMATSU」と題しましたガイドマップを作成したところであり、令和6年4月より、史跡旧島松駅通所及びマップの作成にご協力いただきました各事業所にて、計5,000冊を配布することとしているところであります。

○吉田教育長 以上、教育長報告として3点、報告させていただきました。皆さんからご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、教育長報告につきましては、承認とさせていただきます。

◎日程第3 議案第1号 令和6年4月1日付け教職員の人事異動に関する
内申について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり可決した。(質疑等省略)

◎日程第4 その他

○吉田教育長 日程第4、その他につきまして、事務局から、説明をお願いいたします。

○鹿野教育部理事 事務局から、2点報告をさせていただきます。

1点目は、川又学校教育課長から、令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告について、2点目は、私から次回の教育委員会の日程についてであります。

はじめに、川又学校教育課長から令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告について説明をさせていただきます。

○川又学校教育課長 私から、令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告の概要について説明させていただきます。

別冊資料の1ページをご覧ください。

調査の対象は、小学校5年生の男女、中学校2年生の男女で、1学期の4月から7月までの期間

に実施しました。

調査内容は、体格、肥満度、実技に関しては、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール）、その他として、体力、運動に関する質問を児童生徒、学校に行っています。

次の2ページが結果の概要となります。

まず、体格については、本市は小5男子が全国とほぼ同様、小5女子、中2男女については全国を上回っています。体格については、ここ数年全国を上回っています。肥満傾向については、ここ数年全国平均を上回っていましたが、中2男女については改善が見られました。小5女子については痩身傾向も全国平均を上回っています。肥満傾向、痩身傾向の子を把握し、個別にその状況に合わせた指導が必要となっています。

次の3ページが実技における結果一覧です。上の表が令和5年度、下が令和4年度です。全国を超えている部分は赤の◎、全国以下全道以上を○、全道と同様をハイフンとしています。

小学5年の男女、中2男女ともほぼ全種目で全国平均を上回っております。

次の4ページからは、小学校、中学校男女ごとの結果となります。レーダーチャートやグラフについては、全国平均を50.0とする「T得点」を基に、北海道の値と北広島の値を示しております。

まず、小学校男子は、体力合計点が全国平均を大きく上回っています。レーダーチャートの赤線が全国、緑線が本市となります。

各種目でも50m走以外、大幅に全国平均を上回っています。

次の棒グラフでは、各種目の経年変化を表しています。

1ページ飛ばしまして、6ページからは小学校女子となりますが、体力合計点が全国平均を大きく上回り、全ての種目で全国平均を超えています。

1ページ飛ばしまして、8ページからは中学校男子となりますが、体力合計点が全国平均を上回り、全ての種目で全国平均を上回っています。

1ページ飛ばしまして、10ページからは中学校女子となりますが、男子同様体力合計点が全国平均を上回り、全ての種目で全国平均を超えています。

1ページ飛ばしまして、12ページからは、児童生徒質問紙調査の結果で、体力合計点と関連性の高い質問を抜粋して全国と比較しています。

体力・運動能力の向上について子どもたちは目標を立てて取り組み、授業では友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することが全国平均を上回っています。また、保健体育の授業が楽しい、保健を学習してもっと運動しようと思った子どもの割合が全国平均を上回っています。

スマホ、ゲームの視聴時間、「スクリーンタイム」は子どもたちの体力に大きく影響すると言われていますが、本市では、視聴時間「5時間以上」「4時間以上」「3時間以上」がそれぞれ男女とも、全国を上回る割合を示しています。

次のページの(エ) スマホ、ゲームの視聴時間では、「5時間以上」「4時間以上」「3時間以上」

それぞれ男女とも、全国を越える割合を示しています。

次の14ページからは中学校の結果です。

小学生同様、体力・運動能力の向上について生徒たちが目標を立てて取り組んでいる割合、保健体育の授業が楽しいの割合が男女とも全国平均を上回っています。授業で友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかたり」することの女子の割合が全国平均を上回っています。保健を学習してもっと運動しようと思った生徒の割合は全国平均と同様です。

スマホ、ゲームの視聴時間、「5時間以上」「4時間以上」がそれぞれ男女とも、全国を上回る割合を示しています。

次の16ページは、学校に対する質問をまとめたものです。

学校における「体力、運動能力向上のための目標設定」「体力・運動能力向上研修会参加」「運動・スポーツが苦手な児童・生徒向けの取組、能力差に応じた取組」について、全国、全道を大きく上回っています。

体育授業でのICT活用頻度は、全国、全道を下回っており、今後の課題であります。

次の17ページは、クロス集計で、設問に対する回答と体力合計点の関係を探る集計となります。

「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き」、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものである」と回答した児童生徒や、「中学校進学後、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたい」と思う児童、「中学校卒業後も自主的に運動（体を動かすことを含む）やスポーツをする時間を持ちたい」と思う生徒は体力合計点が高い傾向にあります。保健体育の授業を改善していくことで、運動やスポーツをすることが好きで、大切なものであると考える児童生徒の割合や自主的に運動やスポーツをする時間を持つとする児童生徒の割合を高くしていくことが体力・運動能力の向上につながっていくと思われま

す。また、運動部（部活動）や、地域のスポーツクラブに所属している児童生徒は、「文化部所属」、「所属していない」と回答した児童生徒より体力合計点が高い傾向にあります。

最後に18ページ以降が調査結果のまとめとなります。今後、各学校における取組の重点は、成果が出ている現在の体力向上の取組の継続、他の種目と比較し低い数値となっている疾走能力の向上について現状を踏まえた取組、指導の工夫を図ること、体力テストに対する「教師の働きかけ方・意識」「児童生徒の取り組み・意欲」のさらなる向上となります。

北広島市は小中一貫教育のもと、児童生徒一人ひとりの学力、体力等の実態を共有する中で小中が連携し9年間で児童生徒を育てる取組の工夫を続け、学力向上、体力向上を図ってきました。次年度も、各中学校区にて小中一貫した体力・運動能力向上の取組の工夫、各種目の練習時間、意欲化等々の工夫、小中合同記録会等を進めていきます。

さらに、家庭・地域と協力して、規則正しい生活習慣づくり、特にゲーム、DVD、SNS等の視聴時間に向けての働きかけを行っていくとともに、学校・家庭・地域の協働意識のもと、健康や運動について、教育活動の様々な場面において児童生徒の興味・関心を高めていき、生涯スポーツにつながるよう児童生徒の意識や運動意欲を高めるための環境づくりや運動量を確保するための取組も

進めていきます。

以上であります。

○吉田教育長 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告につきまして、ご質疑等ございますか。

○高山委員 数値を見て、素晴らしいと感じたのが第一の感想で、こんな短い期間でぐっと上がるものなのかと逆に思ってしまったのですけれども、子どもたちの体力が向上しているという部分と、検査に対応するやり方と、そういうことをしっかり市教育委員会をはじめ、各学校につながっていき、本当に小さな数値でも平均値となるとかなり大きくなって現れてきて、このように成果が出たのだと思いました。これを維持するというのはなかなか難しいことですが、上がった、下がったりしながら、この数値をいかに維持していけるかというのが今後の課題なのではないかと思えます。やり方の部分についてはもう限界まで行っているかもしれませんので、この数字をどうやってうまく維持していくかということかと思えます。かなり全国的に見ても数値が高いので、中学校もこれだけ女子も上がっているというのはすごいことだと思えました。皆さんの努力が本当に報われたのだなと思っています。

○川又学校教育課長 ありがとうございます。確かに令和4年度と比べまして数値が高くなっていますが、この数値に一喜一憂をするということはないほうがよいと我々としては思っています。先ほども申しましたとおり、まず全国調査に向けた教師の働きかけだったり、児童生徒の取組の意欲、この小中一貫教育という連携の中で、その意欲を持つということが第一の取組かなと思っております。あと、新規の事業になりますけれども、来年度からは小学校4年生に対しまして外部講師を招いて、体力向上の取組を行う予定としております。引き続き継続した取組、そして体力、能力の結果がよいものになるよう我々も頑張っていきたいと思えます。

以上です。

○吉田教育長 成果もそうですけれども、学年を絞って講習を企画もしているということです。学校も小中一貫の中で継続してやり方、それから運動量を確保していただきたいというようなことでなかったかなと思えます。

○吉田教育部長 今、川又課長からありましたとおり、学校の取組の成果がこういう形に現れたと思うのですが、一方で社会教育という領域において、ボールパークがあって、さらにレバンガ北海道、それからテニス、そういったプロの本当にレベルの高いものに触れる機会をつくることで、子どもたちにも動くことの楽しさとか、そういう意識にもつながっていったのではないかと、個人的に感じているところがありまして、まさしく学校と社会教育が融合しながら、子どもたちの体力向上に向けて取り組んでいく必要があるのだろうと思っています。先ほどの議案にもありましたところで、スポーツ部門が経済部のほうでも動きますが、引き続き社会教育の領域においてこういった活動の取組なんかも継続してやっていきたいと思っていますところでもあります。

○吉田教育長 1つだけ心配なのは、やはりゲームやテレビの時間が全国よりも多めだということろは、体力だけではなくて学習面も含めて今後少し気をつけていかなければならない領域かなというふ

うに読み取れると思います。

そのほか何かございませんか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 続きまして、次回の教育委員会の日程について、説明をお願いいたします。

○鹿野教育部理事 事務局から、次回の教育委員会の日程についてお諮りいたします。

次回第4回教育委員会会議についてであります。臨時会として、3月22日(金)、時間は15時00分から市役所3階会議室で開催させていただきたいと思っております。

議案としましては、令和6年4月1日付け北広島市教育委員会事務局職員の人事異動について等を予定しているところであります。

以上であります。

○吉田教育長 次回は、3月22日(金)、時間は15時から市役所3階会議室で開催ということで皆さまよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎閉会宣言

○吉田教育長 以上で第3回教育委員会会議に付議された議事は全て終了いたしましたので、これにて閉会いたします。本日はご苦労さまでした。

16時45分 閉会

以上、会議を記録し、正確を期するためにここに署名する。

教 育 長

署 名 委 員
